

川越市役所庁舎に関する市民アンケート

～みんなでつくろう みんなの市役所～

－アンケート調査ご協力のお願い－

日頃、市政の発展のため、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、市役所庁舎（以下「市庁舎」という。）は、平常時には市民の皆様にサービスを提供し、万が一、災害が発生した場合には、防災中樞拠点として災害復旧活動の中心となる重要な施設です。

そこで、市庁舎建設の検討を始めるにあたり、今後の参考として活用するため、市民の皆様のご意見をお伺いいたします。

この調査は、住民基本台帳に登録されている満20歳以上の市民の方の中から、無作為に5,000人を選ばせていただき、お願いするものです。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成20年2月

川越市長 舟橋 功一

◎ このアンケート調査は無記名回答で、調査方法ごとに区分して集計します。

◎ 調査結果を目的外に使用することは一切ございません。

－ご記入にあたってのお願い－

- 1 お答えは、あて名のご本人がお答えください。
- 2 ご記入は、ボールペン又は鉛筆でお願いします。
- 3 回答は、最初から1問ずつ、最後までお答えください。
- 4 お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
- 5 質問によって、○をつける数を指定してありますので、各質問最後の（ ）内の指示に従ってください。
- 6 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

－ご記入がおわりましたら－

ご記入が終わりました調査票は、同封の返信用封筒にて3月14日（金）までにご投函ください。（切手を貼る必要はありません）。

なお、調査の内容、記入のしかたなどについて、わからないことがございましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 川越市 総合政策部 政策企画課 政策担当

〒350-8601 川越市元町1丁目3番地1

電話 049-224-5503（直通）

👉 裏面もご覧ください

●川越駅西口に新しい市庁舎を建設することについての考え方

現在の市庁舎は、市制施行50周年記念事業の一環として、昭和47年に建設されました。建設から既に35年が経過した市庁舎は、老朽化や狭あい化などの深刻な問題をかかえています。

また、耐震診断の結果では、耐震性が不足し、災害時に災害復旧活動の中心となる防災中枢拠点の機能を果たすことも困難な状況となっています。しかし、耐震改修工事には、多額の費用や仮庁舎の確保などといった課題がある一方で、大幅な耐久性の向上は望めないという問題があります。

そこで、これらの問題を解決するため、新しい市庁舎の建設を考えています。

市庁舎を建設する上で、建設場所をどこにするかという課題があります。

市庁舎の位置の変更は、法律でも「住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。」（地方自治法第4条第2項）、「当該地方公共団体の議会において出席議員の三分の二以上の者の同意がなければならない。」（同条第3項）と定められているように、市にとって重要な問題の一つです。

しかし、現在地は、仮庁舎の問題や周辺の景観に配慮した高さの問題などいくつかの制約があり、同じ場所に市庁舎を建て替えることは、難しいのではないかと考えています。

また、今後は、人口減少や少子高齢化に対応するため、市街地に都市機能を集約したコンパクトなまちづくりを進めていく必要があります。

現在、川越駅西口では、県と市が共同で「西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）」の整備を進めていますが、この地域振興ふれあい拠点施設建設予定地周辺と、現在、暫定的に自転車置場と広場として使用している川越駅西口市有地周辺は、昭和46年当時には、市庁舎建設候補地となっていました。その後、議会などで協議を重ねた結果、現在地に市庁舎が建設され、今日に至っています。

このような点を踏まえ、また、財政的な面なども考え合わせると、新しい市庁舎の建設場所は、川越駅西口市有地が最良ではないかと考えています。

さらに、川越駅西口に市庁舎を建設することにより、「西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）」との相乗効果による市民の皆様の利便性の向上も期待できると考えています。

なお、市庁舎を移転した場合、現庁舎には市役所の窓口機能を残し、また、観光拠点等として有効活用が図れるよう検討していきます。



川越駅西口周辺図

■ 現庁舎の主な問題点

1 耐震性の不足について

平成7年度に実施した耐震診断結果によると、耐震安全性の評価に使用されている構造耐震指標のIS値は0.5～0.6程度でした。防災中枢拠点となっている市庁舎は、一般的な建物の1.5倍のIS値である0.9が目標値とされています。

新潟県中越沖地震のような震度6強程度の大地震に対して、IS値が0.6未満の建物の場合は倒壊又は崩壊する危険性が高くなることから、一般的な建物については、IS値が0.6未満の場合は耐震補強が必要とされています。また、阪神・淡路大震災の際は、神戸市役所の古い庁舎は中間層で崩壊し、災害復旧活動に多大な支障があったとの報告もあります。

2 老朽化について

35年が経過し、建物や設備の劣化が進み、たび重なる修繕工事を行っています。

3 狭あい化について

OA化、IT化の進展による機器の増設や、地方分権、住民ニーズの多様化への対応による狭あい化が進み、職員の事務スペースや市民の皆様の待合場所も十分に確保できない状況となっています。また、こうしたことから、トイレや通路などのバリアフリー化にも十分に対応することが困難になっています。

※ 近隣市の市役所本庁舎との面積比較（川越市：約12,012㎡）

所沢市：約31,237㎡、狭山市：約20,762㎡、鶴ヶ島市：約11,728㎡

川越市役所庁舎に関する市民アンケート

調 査 票

問1 性別

（○は1つ）

- 1 男 2 女

問2 年齢

（○は1つ）

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代
4 50歳代 5 60歳代 6 70歳代
7 80歳以上

問3 お住まいの地区

（○は1つ）

（参考：送付した封筒のあて名右上に表示されています）

- 1 本庁地区 2 芳野地区 3 古谷地区
4 南古谷地区 5 高階地区 6 福原地区
7 大東地区 8 霞ヶ関地区 9 霞ヶ関北地区
10 名細地区 11 山田地区

問4 市庁舎移転

（○は1つ）

このアンケートより前に、市庁舎を移転する考えがあることをご存知でしたか。

- 1 知っていた 2 知らなかった

問5 市庁舎の利用頻度

（○は1つ）

最近、概ね1年の間に、どのくらいの頻度で市庁舎に訪れましたか。

- 1 ほぼ毎日 2 週に2～3回程度 3 週に1回程度
4 月に1回程度 5 年に数回程度 6 ほとんど訪れない

問6 新しい市庁舎の場所

(○は1つ)

新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思いますか。

- 1 そう思う
- 2 どちらかというと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかというとは思わない
- 5 そうは思わない

問7 交通手段（問5で「ほとんど訪れない」を選択された場合には、仮に訪れるとした場合の交通手段）をご回答ください。

(1) 現在の市庁舎までの主な交通手段は、何ですか。(○は1つ)

- 1 自家用車 2 タクシー 3 バイク 4 自転車
5 バス 6 徒歩

(2) 市庁舎を川越駅西口に移転した場合、電車やバスをご利用されますか。

(○は1つ)

- 1 する 2 しない

問8 新しい市庁舎像

(○は2つ以内)

新しい市庁舎は、どのようなイメージが望ましいと思いますか。

- 1 市民が立ち寄りやすく、開放感のある開かれた庁舎
- 2 市民が交流・活動の拠点として利用しやすい庁舎
- 3 省資源、省エネルギーに配慮した庁舎
- 4 景観に配慮し、市のイメージアップを図ることができる庁舎
- 5 緑が豊かで、潤いのある庁舎
- 6 その他（ ）

- 1 卓球やダンスなどのできる軽体育施設
- 2 生涯学習の講座などができる学習施設
- 3 子育てや高齢者などのための福祉施設
- 4 食事や買物などができる民間商業施設
- 5 ボランティア活動や地域活動ができる集会施設
- 6 余剰の土地・建物の個人・企業への売却や賃貸
- 7 その他（ ）

.....

.....

.....

.....

.....

川越市役所庁舎に関する市民アンケート

～みんなで作ろう みんなの市役所～

－アンケート調査ご協力のお願い－

日頃、市政の発展のため、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、市役所庁舎（以下「市庁舎」という。）は、平常時には市民の皆様にサービスを提供し、万が一、災害が発生した場合には、防災中枢拠点として災害復旧活動の中心となる重要な施設です。

そこで、市庁舎建設の検討を始めるにあたり、今後の参考として活用するため、市民の皆様のご意見をお伺いいたします。

この調査は、郵送により実施するアンケートに合わせて、広く市民の皆様のご意見をお聞きするために行うものです。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成20年2月

川越市長 舟橋 功一

◎ このアンケート調査は無記名回答で、調査方法ごとに区分して集計します。

◎ 調査結果を目的外に使用することは一切ございません。

－ご記入にあたってのお願い－

- 1 ご記入は、ボールペン又は鉛筆でお願いします。
- 2 回答は、最初から1問ずつ、最後までお答えください。
- 3 お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
- 4 質問によって、○をつける数を指定してありますので、各質問最後の（ ）内の指示に従ってください。
- 5 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

－ご記入がおわりましたら－

ご記入が終わりました調査票は、添付の返信用封筒にて3月14日（金）までにご投函ください。（切手を貼る必要はありません）。

なお、調査の内容、記入のしかたなどについて、わからないことがございましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 川越市 総合政策部 政策企画課 政策担当

〒350-8601 川越市元町1丁目3番地1

電話 049-224-5503（直通）

👉 裏面もご覧ください

●川越駅西口に新しい市庁舎を建設することについての考え方

現在の市庁舎は、市制施行50周年記念事業の一環として、昭和47年に建設されました。建設から既に35年が経過した市庁舎は、老朽化や狭あい化などの深刻な問題をかかえています。

また、耐震診断の結果では、耐震性が不足し、災害時に災害復旧活動の中心となる防災中枢拠点の機能を果たすことも困難な状況となっています。しかし、耐震改修工事には、多額の費用や仮庁舎の確保などといった課題がある一方で、大幅な耐久性の向上は望めないという問題があります。

そこで、これらの問題を解決するため、新しい市庁舎の建設を考えています。

市庁舎を建設する上で、建設場所をどこにするかという課題があります。

市庁舎の位置の変更は、法律でも「住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。」（地方自治法第4条第2項）、「当該地方公共団体の議会において出席議員の三分の二以上の者の同意がなければならない。」（同条第3項）と定められているように、市にとって重要な問題の一つです。

しかし、現在地は、仮庁舎の問題や周辺の景観に配慮した高さの問題などいくつかの制約があり、同じ場所に市庁舎を建て替えることは、難しいのではないかと考えています。

また、今後は、人口減少や少子高齢化に対応するため、市街地に都市機能を集約したコンパクトなまちづくりを進めていく必要があります。

現在、川越駅西口では、県と市が共同で「西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）」の整備を進めていますが、この地域振興ふれあい拠点施設建設予定地周辺と、現在、暫定的に自転車置場と広場として使用している川越駅西口市有地周辺は、昭和46年当時には、市庁舎建設候補地となっていました。その後、議会などで協議を重ねた結果、現在地に市庁舎が建設され、今日に至っています。

このような点を踏まえ、また、財政的な面なども考え合わせると、新しい市庁舎の建設場所は、川越駅西口市有地が最良ではないかと考えています。

さらに、川越駅西口に市庁舎を建設することにより、「西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）」との相乗効果による市民の皆様の利便性の向上も期待できると考えています。



川越駅西口周辺図

■ 現庁舎の主な問題点

1 耐震性の不足について

平成7年度に実施した耐震診断結果によると、耐震安全性の評価に使用されている構造耐震指標のI S値は0.5～0.6程度でした。防災中枢拠点となっている市庁舎は、一般的な建物の1.5倍のI S値である0.9が目標値とされています。

新潟県中越沖地震のような震度6強程度の大地震に対して、I S値が0.6未満の建物の場合は倒壊又は崩壊する危険性が高くなることから、一般的な建物については、I S値が0.6未満の場合は耐震補強が必要とされています。また、阪神・淡路大震災の際は、神戸市役所の古い庁舎は中間層で崩壊し、災害復旧活動に多大な支障があったとの報告もあります。

2 老朽化について

35年が経過し、建物や設備の劣化が進み、たび重なる修繕工事を行っています。

3 狭あい化について

OA化、IT化の進展による機器の増設や、地方分権、住民ニーズの多様化への対応による狭あい化が進み、職員の事務スペースや市民の皆様の待合場所も十分に確保できない状況となっています。また、こうしたことから、トイレや通路などのバリアフリー化にも十分に対応することが困難になっています。

※ 近隣市の市役所本庁舎との面積比較（川越市：約12,012㎡）

所沢市：約31,237㎡、狭山市：約20,762㎡、鶴ヶ島市：約11,728㎡

川越市役所庁舎に関する市民アンケート

調 査 票

問1 性別

（○は1つ）

- 1 男 2 女

問2 年齢

（○は1つ）

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1 19歳以下 | 2 20歳代 | 3 30歳代 |
| 4 40歳代 | 5 50歳代 | 6 60歳代 |
| 7 70歳代 | 8 80歳以上 | |

問3 お住まいの地区

（○は1つ）

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1 本庁地区 | 2 芳野地区 | 3 古谷地区 |
| 4 南古谷地区 | 5 高階地区 | 6 福原地区 |
| 7 大東地区 | 8 霞ヶ関地区 | 9 霞ヶ関北地区 |
| 10 名細地区 | 11 山田地区 | |

問4 市庁舎移転

（○は1つ）

このアンケートより前に、市庁舎を移転する考えがあることをご存知でしたか。

- 1 知っていた 2 知らなかった

問5 市庁舎の利用頻度

（○は1つ）

最近、概ね1年の間に、どのくらいの頻度で市庁舎に訪れましたか。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週に2～3回程度 | 3 週に1回程度 |
| 4 月に1回程度 | 5 年に数回程度 | 6 ほとんど訪れない |

問6 新しい市庁舎の場所

(○は1つ)

新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思いますか。

- 1 そう思う
- 2 どちらかというと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかというとは思わない
- 5 そうは思わない

問7 交通手段（問5で「ほとんど訪れない」を選択された場合には、仮に訪れるとした場合の交通手段）をご回答ください。

(1) 現在の市庁舎までの主な交通手段は、何ですか。(〇は1つ)

- 1 自家用車 2 タクシー 3 バイク 4 自転車
5 バス 6 徒歩

(2) 市庁舎を川越駅西口に移転した場合、電車やバスをご利用されますか。

(○は1つ)

- 1 する 2 しない

問8 新しい市庁舎像

(○は2つ以内)

新しい市庁舎は、どのようなイメージが望ましいと思いますか。

- 1 市民が立ち寄りやすく、開放感のある開かれた庁舎
- 2 市民が交流・活動の拠点として利用しやすい庁舎
- 3 省資源、省エネルギーに配慮した庁舎
- 4 景観に配慮し、市のイメージアップを図ることができる庁舎
- 5 緑が豊かで、潤いのある庁舎
- 6 その他（ ）

- 1 卓球やダンスなどのできる軽体育施設
- 2 生涯学習の講座などができる学習施設
- 3 子育てや高齢者などのための福祉施設
- 4 食事や買物などができる民間商業施設
- 5 ボランティア活動や地域活動ができる集会施設
- 6 余剰の土地・建物の個人・企業への売却や賃貸
- 7 その他（

.....

.....

.....

.....

.....

みんなでつくろう みんなの市役所～

川越市役所庁舎に関する市民アンケート

にご協力をお願いします！

日頃、市政の発展のため、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、市役所庁舎（以下「市庁舎」という。）は、平常時には市民の皆様にサービスを提供し、万が一、災害が発生した場合には、防災中枢拠点として災害復旧活動の中心となる重要な施設です。

そこで、市庁舎建設の検討を始めるにあたり、今後の参考として活用するため、市民の皆様のご意見をお伺いいたします。

市庁舎は市の重要な中核施設です。ぜひ、皆様のご意見をお聞かせください。

「川越駅西口に新しい市庁舎を建設することについての考え方」については、下記 PDF 文書を参照して下さい。

ダウンロード

→ [川越駅西口に新しい市庁舎を建設することについての考え方\(68KB\)\(PDF 文書\)](#)（※278 頁）

●アンケート実施期間

平成20年2月15日（金）～3月14日（金）

●アンケート実施方法

1 郵送配布（郵送回収）

川越市住民基本台帳から無作為に選出した市内在住の20歳以上の男女5,000人を対象に、市からアンケート用紙を郵送します。アンケート用紙が届いた方は、ご協力をお願いします。

2 窓口配布（郵送回収）

市役所本庁舎1階案内・政策企画課（本庁舎4階）・出張所・連絡所・本川越駅証明センター・公民館・図書館の各窓口でアンケート用紙を配布しています。市民の方はどなたでも回答いただけます。

調査協力願い（ホームページ調査）

3 市ホームページ（インターネット）

インターネットでの回答となります。市民の方はどなたでも回答いただけます。

※アンケート結果は調査方法ごとに区分して集計します。

インターネットアンケートに回答いただける方は、下記関連情報の「インターネットアンケート」をクリックしてください。

関連情報

→ [インターネットアンケート](#)

「川越市役所庁舎に関する市民アンケート」 インターネットアンケート

－回答にあたってのお願い－

- 1 回答は、最初から1問ずつ、最後まですべてお答えください。
- 2 お答えは、あてはまる回答をクリックすると、解答欄にチェックがつきます。
- 3 質問によって回答数を指定してありますので、各質問最後の（ ）内の指示に従ってください。（回答数を超えてしまうと確認画面でエラー表示が出ます。）
- 4 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に内容を記入してください。

－回答がおわりましたら－

- 1 回答がおわりましたら、調査票の最後の「確認」をクリックし、ご自分の回答を確認してください。
- 2 確認がおわりましたら、ページの最後の「送信」をクリックしてください。

回答は、下記の「調査票」をクリックして行ってください。

⇒ [調査票](#)

◎ このアンケートは無記名回答です。

◎ 調査の結果は、統計データ・参考データとしてのみ使用されます。個々のアンケート結果を目的外に使用することは一切ありません。

なお、調査の内容や回答のしかたなどについて、わからないことがございましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

見にくい方はこちらへ

川越市役所庁舎に関する市民アンケート

調 査 票

問1 性別 (選択は1つ)

- ☐ 1. 男性 ☐ 2. 女性

問2 年齢 (選択は1つ)

- ☐ 1. 19歳以下 ☐ 2. 20歳代 ☐ 3. 30歳代
☐ 4. 40歳代 ☐ 5. 50歳代 ☐ 6. 60歳代
☐ 7. 70歳代 ☐ 8. 80歳以上

問3 お住まいの地区 (選択は1つ)

- ☐ 1. 本庁地区 ☐ 2. 芳野地区 ☐ 3. 古谷地区
☐ 4. 南古谷地区 ☐ 5. 高階地区 ☐ 6. 福原地区
☐ 7. 大東地区 ☐ 8. 霞ヶ関地区 ☐ 9. 霞ヶ関北地区
☐ 10. 名細地区 ☐ 11. 山田地区

問4 市庁舎移転 (選択は1つ)

このアンケートより前に、市庁舎を移転する考えがあることをご存知でしたか。

- ☐ 1. 知っていた ☐ 2. 知らなかった

問5 市庁舎の利用頻度 (選択は1つ)

最近、概ね1年の間に、どのくらいの頻度で市庁舎に訪れましたか。

- ☐ 1. ほぼ毎日 ☐ 2. 週に2～3回程度 ☐ 3. 週に1回程度
☐ 4. 月に1回程度 ☐ 5. 年に数回程度 ☐ 6. ほとんど訪れない

問6 新しい市庁舎の場所 (選択は1つ)

新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思いますか。

- ☐ 1. そう思う
☐ 2. どちらかというと思う
☐ 3. どちらともいえない
☐ 4. どちらかというとは思わない
☐ 5. そうは思わない

問7 交通手段(問5で「ほとんど訪れない」を選択された場合には、仮に訪れるとした場合の交通手段)をご回答ください。

(1) 現在の市庁舎までの主な交通手段は、何ですか。 (選択は1つ)

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| ☐ 1. 自家用車 | ☐ 2. タクシー | ☐ 3. バイク |
| ☐ 4. 自転車 | ☐ 5. バス | ☐ 6. 徒歩 |

(2) 市庁舎を川越駅西口に移転した場合、電車やバスをご利用されますか。 (選択は1つ)

- ☐ 1. 利用する ☐ 2. 利用しない

問8 新しい市庁舎像 (選択は2つ以内)

新しい市庁舎は、どのようなイメージが望ましいと思いますか。

- ☐ 1. 市民が立ち寄りやすく、開放感のある開かれた庁舎
- ☐ 2. 市民が交流・活動の拠点として利用しやすい庁舎
- ☐ 3. 省資源、省エネルギーに配慮した庁舎
- ☐ 4. 景観に配慮し、市のイメージアップを図ることができる庁舎
- ☐ 5. 緑が豊かで、潤いのある庁舎
- ☐ 6. その他 ()

問9 新しい市庁舎の機能 (選択は3つ以内)

新しい市庁舎にあるとよい機能や施設は何だと思えますか。

- ☐ 1. 市民の様々な用事や相談に1か所に対応できる総合窓口
- ☐ 2. 市政に関する情報を知ることができる施設
- ☐ 3. 子育てを支援する施設
- ☐ 4. 食事や買物などができる施設
- ☐ 5. 市民が発表や交流など、多様な活動ができる施設
- ☐ 6. 緑地等の憩いのスペース
- ☐ 7. 観光案内や観光の集合場所となるスペース
- ☐ 8. 高齢者の談話、相談スペース
- ☐ 9. その他 ()

問10 新しい市庁舎を建設する場合の視点 (選択は2つ以内)

新しい市庁舎を建設する場合、重視しなければならないことは何だと思えますか。

- ☐ 1. 交通の便がよいこと
- ☐ 2. 周辺と調和し、地域の活性化に貢献すること
- ☐ 3. 災害時には防災中枢拠点となり、市民の救援を的確に行えること
- ☐ 4. 建設から維持管理までを含め、経済性に優れていること
- ☐ 5. 将来の市民ニーズや行政組織などの変化に柔軟に対応できること
- ☐ 6. 執務スペースが将来に対応できるように十分に確保されていること
- ☐ 7. 長期にわたり使用できること
- ☐ 8. その他 ()

川越市役所庁舎に関する市民アンケート

報告書

平成 20 年 7 月

発 行 / 川越市
編 集 / 総合政策部新庁舎建設準備室
川越市元町 1 丁目 3 番地 1
049-224-8811（代表）



スマイルシティ・川越

※この報告書は再生紙を使用しています。